



渺々万里

第82号

北海道静内高等学校
〒056-0023
日高郡新ひだか町
静内ときわ町1-1-1
TEL 0146-42-1075



育成すべき10の力

北海道静内高等学校長 加澤 雅裕

本校は今年度より、文科省指定の「教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究（SCRUM）」の道南圏域の拠点校となり先進的な取組を推進しています。

また、昨年3月には学校教育目標を改定し、新たに3つの目標を掲げています。各目標を具現化するために、「静内高校で育む10の力」を設定し、本校における授業、特別活動等の教育活動全般において、教職員が本校生徒にそれぞれの「力」を効果的に身に付けてもらうよう取り組んでいます。そこで、2月下旬に、「静内高校で育む10の力」について生徒たちが現状でどれくらい持っているか、持っていると思っているのかを把握することを目的として、1・2年次生を対象にアンケート調査を実施しました。

先日、アンケート調査の集計結果が速報値としてまとまりました。年次毎、クラス毎などの詳細な分析はこれから行っていく予定ですが、集計結果からいくつか興味深い傾向があることがわかりました。まず、10の力のうちの1つ「道徳心」の項目において、本校生徒は公共のマナー、物事の善悪などについて、身に付いていると肯定的に回答した生徒が多いこと、また「自己管理能力」の項目において、授業の準備をしっかりと行っていると回答した生徒が多いことです。

一方、「表現力」の項目においては、(相手に)説明することが得意ではないと否定的に回答した生徒が多いこと、「行動力」の項目において、自分の行動力について否定的に回答した生徒が多いこと、「自己管理能力」の項目において、日々の生活に目標がないと否定的に回答した生徒が多いこと、などが集計結果から見えてきました。

今後、アンケート結果の詳細な分析を行うことと並行して、本校生徒が身に付けている力を一層伸ばすとともに、身に付けていないと思われる課題を改善すべく、教育活動の幅広い分野で生徒への効果的な働きかけを行っていくよう議論を深めて実践していこうと考えています。

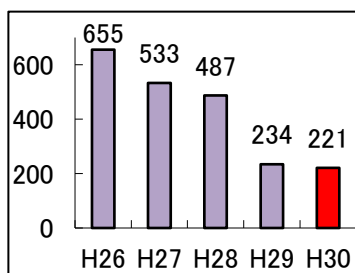
◆平成30年度 商業科・情報科検定試験◆

今年度の各種検定試験はすべて終了しました。

昨年度より受験者数、合格者数とも横ばいとなりました。今年度は2年次生が全体の約65%の合格者数で健闘したと思います。

資格は客観的に評価される大きな武器です。来年度は、今年度を上回るように切磋琢磨し、多くの大きな武器を手に入れてください。特に3年次生は進路を逆算して、計画的に学習を継続しましょう。

合格者の推移



第71回卒業証書授与式を終えて

総務部長 大森 裕介

3月1日(金)、大野克之 新ひだか町長、三浦秀紀 PTA会長、由利正広 同窓会長、湊秀樹 日高教育局教育支援課長、山本政嗣 新冠町教育長をはじめとする多くのご来賓、そして保護者の方々をお迎えし、北海道静内高等学校第71回卒業証書授与式が挙行されました。

確かな春の到来を感じるこの日、厳粛な雰囲気の中、卒業の喜びと別れの寂しさが入り交じる日となりました。卒業証書の授与、校長先生の式辞、新ひだか町長様の祝辞の後、各種の表彰も行われました。

在校生代表の2-4佐藤旭君の送辞を受けて、3-5安部花菜さんの叙情あふれる答辞に、卒業生も本校で過ごした3年間を改めて思い返し、感極まる生徒も見られました。

卒業生159名の今後の活躍を大いに期待すると共に、在校生の皆さんは、卒業生の思いを継承して、「静高プライド」を胸にこれからの高校生活をよりいっそう充実できるように1歩ずつ確実に前進していきましょう。



<部活動の主な記録(1~3月)>

□第47回北海道アンサンブルコンクール日胆地区予選
高等学校の部 クラリネット4重奏 銀賞



進路指導部より

進路指導部長 稲垣 浩

今年度の進路決定状況についてお知らせします。(3月19日現在)進学決定者については、国公立大学22(合格23)私立大学27(合格60)短期大学6(合格6)看護学校11(合格13)専門学校35(合格35)の合計101(合格137)名です。進学希望者は自分の目標に向かい、授業はもちろん放課後・休業中講習にも真剣に取り組み、家庭学習の量も大幅に増やして挑んだ成果があらわれたものだと思っています。これからは、より高度な知識と技術を身につけて、地元日高を想いながらもグローバルワイドな活躍をしていくことを期待してやみません。

就職決定者は47名。希望者全員が日高管内を中心に道内各地に就業します。このことも何度も面接練習を繰り返し、悩みながらも必死に努力を重ねてきた成果が実を結んだものです。4月からはプロの社会人としての第1歩を踏み出すこととなります。より人間性を向上させ、信頼される社会人として、目に見える活躍を期待しています。

来年度以降に向けては、進学面では大学入試改革に向けて様々な変化がはじめています。情報を精査しながら対応し、新しい時代にあつた学力を伸ばしていきます。また、就職面では最近言われている人手不足の状態はまだ続くことが予想され、売り手市場も継続されそうです。このような時こそ自分の能力と適性に合致した職業に就き、能力を発揮することによりその後の人生を豊かに過ごすことができます。ミスマッチをなくするように、きめ細かい指導を続けていきます。

今後とも静内高校の進路指導への応援をよろしくお願いたします。

<写真 「合格体験談を聞こう：一般受験編より」3月15日>



4月の主な行事予定

8日(月)	着任式・前期始業式・入学式・PTA入会式
9日(火)	頭髪服装検査・前期HR役員選出
10日(水)	尿検査・顔写真撮影(1年次)
11日(木)	胸部X線・心電図検査
12日(金)	身体測定・新入生歓迎会
15日(月)	内科検診・一斉委員会
16日(火)	内科検診
17日(水)	基礎力診断テスト・スタディサポート
18日(木)	歯科検診・進路オリエンテーション(3年次)
19日(金)	内科検診・結団式(1年次)
20日(土)	宿泊研修(1年次)
~22日(月)	日高青少年自然の家
25日(木)	解団式、進学相談会、進路オリエンテーション(2年次)
26日(金)	さくらプロジェクト・尿検査



充実した時間

教務部長 高橋 敬一

生徒の皆さん今年度はどのような一年になりましたか?充実した1年間にするためにどのように学校生活を送ればいいのか。それは「他」「自分と人」という考え方がいいのではないのでしょうか。いったい何だろうと思うかもしれませんが、進路活動はまさに自分のことです。今年も3年次生が卒業していきました。就職は10年連続の100%で決まりました。自分の進路に努力した結果です。目標は大切です。その目標に向かって努力していくということは必要なことです。ただ努力は全て報われるわけではありません。その時にどのように考えるかが大切なことです。それは人が決めることは人に任せておけばいいということです。例えば試験をうけるのは自分ですが、合格、不合格を決めるのは自分ではありません。そのことは決める人に任せておけばいいのです。他人が決めることは他人に任せておく。本人がやることは目の前のことを一生懸命、全力で取り組む。それは勉強だけではなく、部活動もしかりです。紙を一枚一枚重ねるように、重ねていくその作業が自分自身の充実に繋がっていくのかもしれない。もう一つ大切だと思うことは、人の為に生きていくということです。自分が成長し、人を幸せにする。しかし残念ながら他人より得をしようとする人が多いのが現実です。そうすると自分の為だけに人間は生きているのでしょうか、そうではありませんね。実は自分のために頑張るより人のために頑張った方が頑張れることはないですか。例えば自分の為に辛いことはできないが、人のためなら辛いこともできたり。とか、自分が得をしようとするとか何かスッキリしないが、自分が損をしても人が喜んでくれるとサッパリしたりなど、実は自分の為にするより人のためにしたほうが良いのではないかと思うことは多いですね。ただ見返りは求めない。ここは難しいところですが…人のためにすることは学校生活には沢山あります。部活動やHRの活動はまさに人のためにすることのできる大切な活動です。まず損得を考えないで二つ返事で頼まれたら笑顔で快く引き受ける。それから始めると良いですね。自分のことを一生懸命、全力で行い、人のために頑張る。そうすることで人生を豊かにし充実した1年間に近づくかもしれません。昨日も良い日、今日も頑張る。生徒の皆さん頑張ってください。

**** 転出者の紹介 ****

3月22日(金)、離任式があり、8名の職員が異動いたします。本校の発展のためにご尽力いただいた職員の皆様、大変ありがとうございました。今後、益々のご活躍を期待しております。

職名	氏名	教科	転出先
教頭	池田 宏	国語	砂川
教諭	相馬 孝史	理科	退職
教諭	梶 正	国語	小樽未来創造
教諭	野村 真之	理科	札幌白石
教諭	大湊 研一朗	国語	札幌北陵
教諭	藤田 大憲	外国語	札幌手稲
教諭	大河原 隼人	国語	浜頓別
事務主任	大辻 真平		室蘭 栄

※学校だより「渺々万里」は静内高校ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.shizunai.hokkaido-c.ed.jp>

